

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスまわぁえん		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との連携を図り、子どもたちとも相談しながら、個別に取り組む活動を決め、より寄り添った支援を行うことができている。	自立課題など取り組む活動を定める際には、活動を行う子どもとコミュニケーションをとり、よりその子がやりたいこと、頑張りたいことを自立課題の内容として取り組めるように活動内容を設定している。	今後は私生活にも役立つ活動内容を取り入れていながら、より生活に近い内容の活動を行っていく。
2	広々とした室内環境や庭の環境があり、子どもたちがのびのびと遊びを楽しめる空間があること	室内を3つのコーナー分けをし、体を動かしたい子、静かに制作やパソコンなどの活動に個人で取り組みたい子などそれぞれの子どもたちがやりたいことに集中して取り組める環境づくりを意識して、日々環境の設定を行っている。	庭などの外の環境整備にも注力し、砂場遊びや運動遊びなど、屋外での活動を広げていけるように環境の変化を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流の機会が少ない	外部との交流の機会が少なく、保護者様からも交流の機会を必要としていないという声が上がっていること。 近隣の児童クラブなどの交流のやり方の理解がまだ完全ではない。	近隣の公民館の利用を行い、交流できる機会を伺う。 地域の方との交流の場として行っている農作業体験や、高齢者様との交流活動の内容をさらに強化していく。 近隣の中学校の職場体験の継続を行う。
2	マニュアル関係の周知を職員、保護者に対して十分にできていない。	マニュアル数が多く、なかなか理解を含めるに至っていないのが現状だと考えられる。 また、保護者様に対しては、来所する機会が少ないため、マニュアルが玄関においてあるが手に取ってもらえることが少なく、把握している人も少ない。	保護者様に対しては、計画面談の際に、新規マニュアルの報告と設置場所の周知を行うようにして、認知を高める。 職員に対しては、定期的なマニュアル周知のための研修・会議を行い、徹底して理解をできる環境を作る。
3	施設までの段差や経路が車いすでは入りにくい	室内はバリアフリーとなっているが、玄関までに階段、段差があるため、車いすでの出入りが行いにくい。	車いすの方が利用される場合に、スロープの出し入れ方法や、収納場所などの検討を行う。